茨城県立竜ヶ崎第一高等学校

実施日 2010年7月23日

活動実施者
- 大場 歩 ［農学D1］
- 伊東 裕理 ［工学M2］

活動概要

茨城県立竜ヶ崎第一高等学校では、平成22年度よりいばらき版サイエンスハイスクール（いばらき版SH）事業モデル校として医学部（医学科）および難関理工系大学への進学者数増加を推進しており、女子生徒の割合が年々増加している。そこで理工系進路選択のロールモデルとして進路選択の一助として出張セミナーの依頼を受け、2名のSAが講義を行った。形式は、研究紹介をそれぞれ40分（合計80分）、学生生活紹介20分、質疑応答20分（合計120分）にて行い、大場は「カビ（真菌）の薬剤耐性獲得の原因を探れ!-農学部でする医学の研究-」、伊東は「プラチナの可能性は無限大」について自分の現在までの進路選択の経歴を踏まえて話をした。参加者 高校生15名、担当教員1名、SA2名の合計18名。

高校生の頃に疑問に思っていたこと、不安だったことを思い出し、それらに応えられるような構成を考え講演に臨みました。学生の皆さんが真剣に聴いて下さっていたのがとても印象的で、少しでも進路選択や、不安の払拭のお役に立てたとしたら嬉しいです。これからもこうして全国の女子高校生のお役に立てるようにはりいっそう精進していきたいと思います。無事に講演を終えられたのも、多くの方に支えていただいたからだと思います。同行して下さった伊東さんにもだいぶ刺激を受け、これまで以上によいスライドを作成できたと思います。ありがとうございました。
（大場歩）

講演は大変緊張もしましたが、様々な方のサポートで無事に終えることができました。私は高校時代に漠然としたイメージで進路を選択し、今になってもっと情報収集しておくべきだったと思っていました。今回、自分の経験を踏まえて高校生が知りたい情報や悩みについて話すことができたと思います。これからも、高校生だった頃の自分が知りたかった情報を高校生に伝え、彼女・彼らの悩みや不安が少しでも解消できるような活動をしていきたいと思います。（伊東裕理）

● SCHOOL DATA

茨城県立竜ヶ崎第一高等学校
茨城県龍ケ崎市平畑248
http://www.ryugasaki1-h.ed.jp/

Voice 生徒からの声
工学のイメージは、機械・パソコンに強くて男ばかりというイメージが強かったのですが、講話を聞いて化粧品やジュエリーに関わる研究もするということが分かり、工学部への興味が湧いてきました。また、農学部の就職先に、製薬会社や製菓会社の名前があったので驚きました。農業に関わることだけでなく、幅広い研究ができて楽しいそうでした。他にも、サークルや部活など大学生活の話を聞けてよかったです。いろいろなことに興味を持ち続け、選択肢を増やせるように勉強も頑張ろうと思いました。

宮城県仙台二華高等学校
［全3回］

実施日 ［第1回］2010年10月12日

活動実施者
- 八重樫 咲子 ［工学D1］
- 岩崎 藍子 ［理学M2］
- 内田 美子 ［工学M2］
- 高橋 さやか ［生命M2］
- 北川 絵理 ［農学M1］
- 堀尾 真里 ［環境M1］

活動概要

仙台二華高等学校より、高校1年生理系生徒を対象に出張セミナーの依頼を受け、6名のSAが講義を行った。形式は、2名ずつ（高橋&内田、北川&堀尾、八重樫&岩崎）3クラスに分かれ、研究紹介をそれぞれ30分（合計60分）、フリートーク30分にて行われた。参加者は1クラスにつき高校生35～45名に担当教員が2名ずつ付く形式で1クラス約47～57名の参加者数であった。また、引き続き3名のSA（岩崎、高橋、堀尾）により、中学生、高校2、3年生の聴講希望者向けに放課後に講演会が行われた。参加者 約30名。

今回の発表では、私自身が高校生の時に欲しかった情報を考え、現役高校生の皆さんが、少しでも自分たちの未来を想像しやすい内容を伝えようと心がけました。同じクラスで発表を行った高橋さんをはじめ、他のSAの方の資料も拝見して、聴衆を意識した内容・魅せ方など、表現の仕方が大変勉強になりました。（内田美子）

母校に行くという事で最初は楽しみ半分、正直ちゃんとセミナーを行えるか、という不安半分でした。実際に準備をしていく段階では、専門の内容を分かりやすく伝えることの難しさに直面しましたが、色々考えることができ、また一段階自分も成長できたかと思います。今回のセミナーは本当にいい機会になりました。少しでも迷える高校生が理系を選択する手助けになっていればとても嬉しいです。（高橋さやか）

実施日 ［第2回］2010年11月9日

活動実施者
- 原 弥生 ［薬学M2］
- 伊東 裕理 ［工学M2］
- 望月 麻衣 ［生命M2］
- 佐々木 佳織 ［医工学M2］
- 浅野 晴香 ［理学M1］
- 大橋 祐美 ［農学M1］

活動概要

10月12日に引き続き、6名のSAが講義を行った。また、放課後には3名のSA（原、浅野、大橋）により、1回目同様放課後に講演会が行われた。参加者 約35名。

出張セミナーへの参加は初めてでしたが、大変良い経験になりました。手を挙げてくれた高校生の質問は、院に所属している自分たちではなかなか考え付かない素朴な「どうして?」が多く、答えられないもの（まだわかっていないもの）もありましたが、その「どうして?」を調べているのが私たち（研究）なのだということが少しでも伝えることができていたら良いと思いました。（望月麻衣）

研究紹介では、分かりやすくするだけでなく、興味を持ってもらえるような表現をするように心がけました。また、フリートークでは時間割やサークル、アルバイトなどといった高校生が知りたいと思っていそうな事をあらかじめ予想し、何枚かスライドを作っておいたのが本番で有効に使うことができました。手を挙げてなど直接の質問はありませんでしたが、真剣に、時には笑顔で聞いてくれていたので、今後の進路選択に少しでも役に立てればと思います。（佐々木佳織）

実施日 ［第3回］2010年12月7日

活動実施者
- 大場 歩 ［農学D1］
- 伊東 裕理 ［工学M2］
- 千田 はるか ［農学M2］
- 佐々木 彩乃 ［生命M1］
- 八木橋 奈央 ［生命M1］
- 荒木 希久子 ［薬学M1］

活動概要

11月9日に引き続き、6名のSAが講義を行った。また、放課後には3名のSA（伊東、荒木、八木橋）により、1回目同様放課後に講演会が行われた。参加者 約15名。

私は二華高校が初めての出張セミナーでした。講演の内容を考える過程で、自分が高校時代にどんなことを考え、悩み、どんな将来を目指していたか、自分自身を振り返り、できるだけ高校生と同じ目線に立って話ができるように心がけました。当日は高校生のキラキラしたまなざしを受け、こちらも飾らずありのままの自分をさらけ出して話ができました。私は高校時代は東北大なんて自分は絶対に入れないところと思っていたので、高校生には「自分の努力次第でどんな道も開ける」ということを伝えたいと思っていました。私の思いが少しでも高校生達に届いてくれていたらうれしいです。（千田はるか）

● SCHOOL DATA

宮城県仙台二華高等学校
宮城県仙台市若林区連坊1丁目4番1号
http://www.nika.myswan.ne.jp/

Voice 生徒からの声
「数学が苦手だからといって、理系に進まないのはもったいない!大丈夫です。」と言われ、不安が勇気へと変わりました。今では地道に1つ1つわからないことを潰していくことを目標に進路達成に向け毎日奮起して数学・理科に挑んでいます。